



平和ってなに？

～戦争を知って平和を考えよう～

令和5年版



7月12日は「宇都宮市平和の日」
7月12日～8月15日は「宇都宮市平和月間」です

宇都宮市では、宇都宮空襲があった7月12日を「宇都宮市平和の日」、7月12日から終戦の日の8月15日までを「宇都宮市平和月間」と定め、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えています。
この期間中、宇都宮市立図書館では、平和関連の本などを集めたコーナーを開設しています。
あわせて、平和を考えるための図書のリストを作成しました。どうぞご利用ください。

戦時中の栃木県や宇都宮市についての本

	<table border="1"> <tr><td>タイトル</td><td colspan="3">うつのみやの空襲</td></tr> <tr><td>著者</td><td colspan="3">宇都宮市教育委員会/編</td></tr> <tr><td>出版社</td><td colspan="3">宇都宮市教育委員会</td></tr> <tr><td>分類</td><td>K210.7/ウ</td><td>出版年</td><td>2001年</td></tr> <tr><td>所蔵館</td><td>全館</td><td></td><td>2011年</td></tr> </table>	タイトル	うつのみやの空襲			著者	宇都宮市教育委員会/編			出版社	宇都宮市教育委員会			分類	K210.7/ウ	出版年	2001年	所蔵館	全館		2011年	<p>宇都宮市の「戦災記録保存事業」の報告書。近代の宇都宮の歴史から、戦後の平和への道のりまでを、多数の写真や資料、市民への聞き取り調査などでわかりやすく記録している。</p>
タイトル	うつのみやの空襲																					
著者	宇都宮市教育委員会/編																					
出版社	宇都宮市教育委員会																					
分類	K210.7/ウ	出版年	2001年																			
所蔵館	全館		2011年																			
<p>No Image</p>	<table border="1"> <tr><td>タイトル</td><td colspan="3">宇都宮空襲の記憶</td></tr> <tr><td>著者</td><td colspan="3">宇都宮市平和委員会/編</td></tr> <tr><td>出版社</td><td colspan="3">宇都宮市平和委員会/編</td></tr> <tr><td>分類</td><td>K390/ウ</td><td>出版年</td><td>2005年</td></tr> <tr><td>所蔵館</td><td colspan="3">中央・東・南</td></tr> </table>	タイトル	宇都宮空襲の記憶			著者	宇都宮市平和委員会/編			出版社	宇都宮市平和委員会/編			分類	K390/ウ	出版年	2005年	所蔵館	中央・東・南			<p>昭和20年7月12日に起きた宇都宮大空襲当日の記憶を中心に、市民が自身の戦争体験をつづった記録集。当時の宇都宮市で起きた、九つの貴重な体験を収録している。</p>
タイトル	宇都宮空襲の記憶																					
著者	宇都宮市平和委員会/編																					
出版社	宇都宮市平和委員会/編																					
分類	K390/ウ	出版年	2005年																			
所蔵館	中央・東・南																					
	<table border="1"> <tr><td>タイトル</td><td colspan="3">二荒山は炎の中に</td></tr> <tr><td>著者</td><td colspan="3">宇都宮平和祈念館建設準備会/編</td></tr> <tr><td>出版社</td><td colspan="3">随想舎</td></tr> <tr><td>分類</td><td>K390/ウ</td><td>出版年</td><td>1992年</td></tr> <tr><td>所蔵館</td><td colspan="3">中央・東・南・河内</td></tr> </table>	タイトル	二荒山は炎の中に			著者	宇都宮平和祈念館建設準備会/編			出版社	随想舎			分類	K390/ウ	出版年	1992年	所蔵館	中央・東・南・河内			<p>宇都宮空襲・戦災の実態を、多くの図版や写真、絵を使い、わかりやすく解説。市民による宇都宮空襲の切実な体験談を交え、身近なところから平和を考える1冊。</p>
タイトル	二荒山は炎の中に																					
著者	宇都宮平和祈念館建設準備会/編																					
出版社	随想舎																					
分類	K390/ウ	出版年	1992年																			
所蔵館	中央・東・南・河内																					
	<table border="1"> <tr><td>タイトル</td><td colspan="3">実録!宇都宮大空襲</td></tr> <tr><td>著者</td><td colspan="3">徳田浩淳/著</td></tr> <tr><td>出版社</td><td colspan="3">宇都宮平和祈念館をつくる会</td></tr> <tr><td>分類</td><td>K390/ト</td><td>出版年</td><td>1999年</td></tr> <tr><td>所蔵館</td><td colspan="3">中央・南</td></tr> </table>	タイトル	実録!宇都宮大空襲			著者	徳田浩淳/著			出版社	宇都宮平和祈念館をつくる会			分類	K390/ト	出版年	1999年	所蔵館	中央・南			<p>当時市役所に勤務していた郷土史家の徳田浩淳氏が、宇都宮大空襲のあった7月12日から19日までの一週間を、自身と家族の体験を中心に克明に記録している。</p>
タイトル	実録!宇都宮大空襲																					
著者	徳田浩淳/著																					
出版社	宇都宮平和祈念館をつくる会																					
分類	K390/ト	出版年	1999年																			
所蔵館	中央・南																					
	<table border="1"> <tr><td>タイトル</td><td colspan="3">語りつぐ戦争 とちぎ戦後70年</td></tr> <tr><td>著者</td><td colspan="3">下野新聞社編集局/著</td></tr> <tr><td>出版社</td><td colspan="3">下野新聞社</td></tr> <tr><td>分類</td><td>K200.7/シ</td><td>出版年</td><td>2016年</td></tr> <tr><td>所蔵館</td><td colspan="3">全館</td></tr> </table>	タイトル	語りつぐ戦争 とちぎ戦後70年			著者	下野新聞社編集局/著			出版社	下野新聞社			分類	K200.7/シ	出版年	2016年	所蔵館	全館			<p>下野新聞が戦後70年を節目に企画した連載記事をまとめたもの。栃木県内外の戦争体験者による証言や、惨禍を語り継ぐ各地の取り組みを多数収録。記憶や歴史が遠ざかりつつあるなか「いま語らねば、伝えねば」という切迫した思いが伝わってくる。</p>
タイトル	語りつぐ戦争 とちぎ戦後70年																					
著者	下野新聞社編集局/著																					
出版社	下野新聞社																					
分類	K200.7/シ	出版年	2016年																			
所蔵館	全館																					

	タイトル	戦争が終わった日 栃木県民が語る 八月十五日			昭和20年8月15日終戦の日の栃木県民の体験談。空襲・食糧難・学童疎開・勤労動員そして、肉親・友人の出征・戦死など、戦争が遠く離れた時代や地域のものではないこと、平和の大切さを知る。
	著者	編集工房随想舎/編			
	出版社	随想舎			
	分類	K200.7/ズ	出版年	1989年	
	所蔵館	中央・東・南・河内			

	タイトル	一しずくの水 -栃木県被爆者体験記-			県総合運動公園内に「栃木県原爆死没者慰霊の碑」が建立されたのを機に、核兵器廃絶と世界平和を訴えるため発行された、栃木県関係者だけの被爆体験記。栃木県民も原爆とは無縁ではないことを改めて考えさせられる。
	著者	栃木県原爆被害者協議会/編			
	出版社	栃木県原爆被害者協議会			
	分類	K950/ト	出版年	1992年	
	所蔵館	全館			

	タイトル	戦争の記憶を語り継ぐ (DVD)			宇都宮空襲、シベリア抑留、インパール作戦などを体験した栃木県内在住者たちの証言を集めた2枚組DVD。当時の心理状態や悲惨な生活について細部まで語られており、ひとつひとつの言葉の重みに胸が締め付けられる。
	著者	栃木県/編			
	出版社	栃木県			
	分類	270/セ	出版年	2016年	
	所蔵館	中央・南・上河内・河内			

次代へ読み継がれていく本

	タイトル	黒い雨			原爆の激しさ、恐ろしさを声高に表現する作品が多い中、この作品は被爆者の日常をただ淡々と描いている。市井の人の上に冷たく降り注ぐ黒い雨。静かな光景が原爆の残酷さを際立たせ、平和の大切さを強く訴えている。(野間文芸賞受賞) ※埼玉福祉会発行の大活字本あり
	著者	井伏鱒二/著			
	出版社	新潮社 (文庫)			
	分類	F/イブセ.マ	出版年	2003年	
	所蔵館	全館			

	タイトル	アンネの日記			第二次世界大戦下、ユダヤ人ゆえに隠れ家での生活をしいられるアンネ。13歳から約2年間にわたりつづられた日記では、辛くても、いつかまた幸福を見いだせると信じ、未来に希望を抱くことで自分を保つアンネの健気さや強さにふれられる。(ユネスコ記憶遺産)
	著者	アンネ・フランク/著 深町眞理子/訳			
	出版社	文藝春秋			
	分類	945/フ	出版年	2003年	
	所蔵館	全館			

	タイトル	夜と霧			第二次世界大戦中、心理学者・精神学者だった著者は、ナチスにより強制収容所に収容された。強制労働、懲罰、「選抜」。過酷な現実にある被収容者の心の反応を冷静に分析。「わたしたちは、おそらくこれまでの時代の間も知らなかった「人間」を知った。」と記している。
	著者	ヴィクトール・E・フランクル/著 池田香代子/訳			
	出版社	みすず書房			
	分類	946/フ	出版年	2002年	
	所蔵館	全館			

戦争を知り、平和を願う本

	タイトル	事典太平洋戦争と子どもたち			太平洋戦争は子どもたちにいかなる影響を与えたか。戦前から戦時下、そして戦後へといたるまでの「戦争と子ども」に関する47のQ&A。社会のなかで最も弱い立場にある者の視点から、戦争を見ることを教えてくれる一冊。
	著者	浅井春夫ほか/編			
	出版社	吉川弘文館			
	分類	210.7/7/22	出版年	2022年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	読む年表太平洋戦争—開戦から終戦まで1396日の記録			昭和16年12月1日の御前会議における開戦決定から、昭和20年9月26日の最初の復員船の帰国までの記録。「いつ」「どこで」「何があったのか」を写真とともにわかりやすく紹介する。
	著者	筒居譲二			
	出版社	潮書房光人新社			
	分類	210.7/7/22	出版年	2022年	
	所蔵館	中央			

	タイトル	AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争			最新のAI技術と、取材や資料を基にした人の手によって、白黒写真をカラー化する「記憶の解凍」プロジェクト。社会的課題である記憶の継承についての新しいアプローチであり、本書にはその成果のうち約350枚が時系列順に収められている。
	著者	庭田杏珠・渡邊英徳/著			
	出版社	光文社			
	分類	210.7/7/20	出版年	2020年	
	所蔵館	中央			

	タイトル	日本人の宿題 歴史探偵、平和を謳う			2021年1月に逝去した作家の半藤一利が、2005年から2018年までに出演した「NHKラジオ深夜便」と「NHKマイあさラジオ」をもとに再構成した平和へのメッセージ。多くの戦争関連書を遺した著者が現代の日本人に伝えようとしたことは。
	著者	半藤一利/著 保阪正康/解説			
	出版社	NHK出版			
	分類	210.7/7/22	出版年	2022年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	沖縄のことを聞かせてください			『島唄』発表以後、沖縄と関わり続ける著者が、様々な世代の沖縄に縁ある人々に対話する。「復帰」後50年が経ってもなお癒えず、継承されていく傷。戦争はまだ終わっていないことを教えてくれる一冊。詳細な注釈付き。
	著者	宮沢和史			
	出版社	双葉社			
	分類	281/ミ	出版年	2022年	
	所蔵館	中央・南			

	タイトル	世界を平和にする第一歩 from under 30			タレント、作家、社長などが、自分の言葉で身近な出来事について語っており、平和や戦争に限らず様々な視点から「考える」ことの大切さを知ることができる。巻末におすすめブックガイドを掲載。
	著者	河出書房新社			
	出版社	河出書房新社			
	分類	319.8/カ	出版年	2022年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	戦争と平和 ある観察		<p>戦時中に誕生し、国民学校6年生で敗戦を体験した著者による、戦争とは何か、平和とは何か、を学問的に学びなおす一冊。戦争を知る者が引退する時に次の戦争が始まるのが少なくない、という著者の言葉にはっとさせられる。</p>	
	著者	中井久夫/著			
	出版社	人文書院			
	分類	914.6/ナカイ.七/22			
	所蔵館	東	出版年		2022年
	タイトル	降伏の時 元釜石捕虜収容所長から孫への遺言 1984.8.15→2022.4.28		<p>終戦の日を境に、立場が逆転した釜石捕虜収容所長の、元捕虜たちを無事に送り出すまでの日々の記録から、それをもとに孫である著者小暮聡子氏は、祖父にとっての戦争の終止符を求め、元捕虜やその家族と交流したルポルタージュであり、本書を現在進行形の「戦争の記憶」と述べている。著者は本市出身の「ニューズウィーク日本版」記者。</p>	
	著者	稲木誠・小暮聡子/著			
	出版社	岩手日報社			
	分類	916/1	出版年		2022年
	所蔵館	中央			
	タイトル	アウシュヴィッツのお針子		<p>アウシュヴィッツ強制収容所で、幹部家族の服を縫うお針子として命をつないだ女性たちの体験談。過酷な環境下でも連帯して生きようとした彼女たちの姿に心打たれる。</p>	
	著者	ルーシー・アドリントン			
	出版社	河出書房新社			
	分類	936/ア	出版年		2022年
	所蔵館	中央・東・南			
	タイトル	戦争日記 ～鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々～		<p>童話作家、二人の子を持つ母である35歳のオリガが、ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから、迫りくる爆撃の恐怖と別れの日々を経て、国外に脱出するまでを描いた絵日記。</p>	
	著者	オリガ・グレベンニク			
	出版社	河出書房新社			
	分類	986/グ	出版年		2022年
	所蔵館	中央・南			
	タイトル	ペリリュー -楽園のゲルニカー- (全11巻)		<p>太平洋戦争末期、南洋ペリリュー島で持久戦を命じられた日本軍守備隊の兵士たちを描いた戦争マンガ。史実と取材を参考にしたフィクションながら、戦争の悲惨さと平和の大切さを改めて考えさせられる作品。</p>	
	著者	武田一義/著 平塚柁緒/原案協力			
	出版社	白泉社			
	分類	C/タダ	出版年		2016年～ 2021年
	所蔵館	中央・南			
	タイトル	この世界の片隅に (DVD)		<p>同名漫画を原作にしたアニメーション映画。原作漫画は上中下の3巻完結済み。広島に生まれ呉に嫁いだすずの戦時下の日常を丹念に描いている。</p>	
	著者	片淵須直			
	出版社	バンダイビジュアル			
	分類	930/コ	出版年		2016年
	所蔵館	上河内			

発行 令和5年7月 編集・発行 宇都宮市立図書館

問合せ 宇都宮市立中央図書館 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 電話 028-636-0231